

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成30年度(2018)活動行事記録

夜桜とイルミネーションに 柴橋岐阜市長来場 「黒野城武将隊」もお迎え

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成30年(2018)4月4日(水)
黒野城跡イルミネーション

黒野まちづくり協議会・黒野イルミネーション実行委員会主催のイルミネーションに、2月に就任したばかりの柴橋正直岐阜市長が午後8時30分黒野城跡に来場。多数の地域市民が集まり挨拶や記念写真で撮り賑わいました。黒野城武将隊も勢揃いし太鼓音とともにお迎えしました。



「東海の古城と史跡を訪ねる」講座の現地見学会 豊田中日文化センターの一行来城

雨上がり若葉の芽が広がる午後、「東海の古城と史跡を訪ねる」講座の現地見学会で豊田中日文化センターの19名がマイクロバスで東海古城研究会宮崎論志氏の案内にて加納城、盛徳寺(亀姫の菩提寺)、鷺山城を経て黒野城に来訪。本丸跡で資料を配り、城と城主を紹介し土塁を一周、その後二の丸資料館を見学。土塁や手作りの展示資料などに関心をもたれました！



「犬山城と城下町」及び「関ヶ原前哨戦・米野の戦い」見学会

5月22日は貞泰公の命日でこの月日に訪問。加藤光泰が一時城主であったり、加藤貞泰が関ヶ原合戦の前哨戦で加勢衆として入城し、無血開城させた犬山城。研究会は国宝犬山城が現存するのは貞泰公のお陰であると思っています。快晴の中、11名が参加し、犬山城、有楽苑、昭和横丁で昼食。城とまちミュージアムで算学芸員から説明を聞く。その後、米野の戦い跡、飯沼長資の墓、中山道細畑の一里塚、織田秀信の本陣跡焔魔堂に立ち寄る。



国宝犬山城(貞泰の無血開城のお陰で現存)



犬山城から望む岐阜城



有楽苑



本町通り



ミュージアムのジオラマ



寛さんと成瀬家鎧



犬山城バックに記念写真



米野の戦い跡



米野の戦い跡新設案内板



飯沼勘平長資の墓(岐南町)



←細畑の一里塚



織田秀信の本陣跡
焔魔堂 →



閻魔堂縁起



閻魔堂を守る加藤さん

閻魔堂縁記に、1542年土岐氏滅亡、川手城廃城、閻魔堂は土岐頼芸、斉藤竜興公の家臣加藤左太郎が御守。以後加藤家が守る。

「方県老人クラブ連合会 講演会

1部「岐阜織田氏と正蓮寺」 講師：正蓮寺(岩利) 鷲岡護住職

2部「黒野城と方県の城・石谷郷と明智光秀」 講師：河口・関谷

方県老人クラブ連合会の金川慶三会長が第2回目の講演会を開催。研究会に講師の依頼があり2名が講師を務めました。地元佐野の鈴木純朗(研究会員)の司会進行。約60名の参加者に正蓮寺の鷲岡住職様から岩利城主の塚元小太膳と正蓮寺のお話し。続いて河口会長から黒野城の概要、方県と黒野城主の関係、石谷郷の石谷氏が明智光秀との関係を説明。関谷副会長からは方県の城(村山・安食・岩利・石谷)の調査写真をパネル説明し、地元の皆さん方は関心を持って聞いておられました。



岐阜新聞 2018年(平成30年)6月13日 水曜日

第3種郵便物認可

戦国時代を中心に方県地区の歴史を学んだ講演会—岐阜市安食、方県公民館

信長の家臣や山城跡

方県地区の歴史解説

岐阜市方県地区や周辺地域の歴史について研究者らが話す講演会が12日、同市安食の方県公民館で開催された。織田信長が岐阜城に居を構えた時代、同地区で活躍したとされる家臣や、遺構が残る山城の实地踏査について報告があり、集まった約60人の市民らは地元の歴史遺産について知識を深めた。(原田大介)

正蓮寺の住職ら岐阜市で講演

方県老人クラブ連合会(金川三三会長の主催)で、2回の開催。主催者(同市岩利)の鷲岡護住職は、岩利の平城を拠点とした塚本小太膳という信長の家臣を紹介した。木曾川交易の有力者との説が残ることや、陶器が高価な価値を持ち始めた時期に陶工集団と関係が深かったことを挙げ、「経済面や情報収集で信長を支えた可能性がある」と推測。また、豊田秀吉が残した書状に、信長の側近として小太膳の名前が記されており、「歴史から消えてしまった存在だが、信長に近いとて有能な側近だった」との説を示した。「黒野城と加藤貞泰公研究会」の河口耕三

会長と関谷副会長は、多数の遺構を写真(こちら)のふしじは、方県地区周辺に点で紹介したほか、地図の通信手段など配慮する山城跡などについて位置関係を示すとされていると解説し、話を聞いた。調査で訪一直線上に並んでいる。

折立地区に道案内板設置 「黒野城跡」・「芭蕉・寸木連句碑」

史跡の場所が分からないと意見があり、県道沿い私有地の許可を得て、既設の大形看板に「黒野城跡」と「芭蕉・寸木連句碑」の道案内をリニューアル。
また三ツ又の芭蕉連句碑の道路脇私有地にも標示板を設置。史跡を探さなくてもよいように対策をした。



従来の表示



(有)サインタワーによる取付工事



完成後

三ツ又



← 連句碑の場所
と総合案内板



設置翌日に開催された「第5回黒野歴史探訪」で紹介

黒野まちづくり協議会主催

第5回黒野歴史探訪 折立・三ツ又・黒野の史跡巡り

「芭蕉と神山寸木が330年前の6月17日、連句を詠みました」

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成30年(2018)6月16日(土)

8:30~12:00

黒野まちづくり協議会主催の黒野歴史探訪は好天に恵まれ、出発前(49名集合)には柴橋岐阜市長が公務で黒野へ来訪の間に寄られご挨拶。5kmの探訪コースを案内。黒野城跡→折立佐藤家石垣→五霊神社→石仏→道しるべ・折立整地碑・佐藤治徳碑→新設の看板→新堀川→共和町公園・地藏→伊自良川堤防→芭蕉連句碑。地藏寺跡→天王神社→正木御坊遠望→三ツ又の旧板屋川など三川合流地→八十間堤防→地藏→舟入り川→黒野城跡を巡る。



折立県道沿いの各種碑

前に設置の道案内板



新堀川と揚水機



連句碑前



三ツ又と木田の境を流れる旧板屋川沿い

紙芝居新作発表「黒野城主 加藤貞泰と関ヶ原」& 講演「関ヶ原の真相」

紙芝居第4作目「黒野城主加藤貞泰と関ヶ原」が制作部会メンバーにて完成し、初公開を黒野会館の歴史探訪講座で発表した。参加者50名。紙芝居は2巻作り、1巻は黒野小学校の深尾雅人校長に寄贈。紙芝居は1部、2部(30分)の上演を名知・神山・河合・河島が演じた。太鼓、ホラ貝などの音入りの熱演でした。続いて「関ヶ原の真相」(45分)を河口が講演。いずれも購入したプロジェクターで発表の効果。



図書館等に発行した冊子「関ヶ原」



紙芝居お披露目会 新聞記事 & TV放送

中日新聞

2018年(平成30年)8月3日(金曜日)

黒野城主 加藤貞泰「関ヶ原」の活躍



紙芝居を披露する河口会長(後列右から2人目)ら研究会のメンバー＝岐阜市下鶴町の黒野会館で

岐阜市黒野に黒野城を築いた徳川武将・加藤貞泰(一五八〇～一六三三)年の関ヶ原合戦での活躍を伝える紙芝居を、地元有志による顕彰グループが作った。関ヶ原の前哨戦にまつわる新説も盛り込み、貞泰の知られざる武功を紹介する。九日にお披露目会があり、参加者を募っている。

住民有志が紙芝居に

豊臣家の家臣だった貞泰は父の死後、甲斐国(山梨県)から美濃国(へ移り、一五九四年に黒野に築城。一六〇〇年の関ヶ原合戦では東軍の黒田長政、竹中重門とともに布陣し、勝利に貢献した。その後、米子藩(鳥取県)、大洲藩(愛媛県)に転封した。顕彰グループ「黒野城と加藤貞泰研究会」によると、明治時代の一部資料では関ヶ原の布陣図から貞泰の名が消え、戦場での功績がほとんど知られなくなっていました。紙芝居はその存在を広く知ってほしいと制作し、豊臣秀吉

9日お披露目会 前哨戦の新説も

の死から貞泰の転封までを三十八枚にまとめた。関ヶ原合戦の前哨戦で、東軍が無血開城させた大山城でのエンゲートも描く。通説では貞泰は西軍側の城主ともなっていたとされる。これに対し、紙芝居では貞泰が東軍に味方する「城主新説」を採用した。近年の新説を採用した。研究会の河口耕二会長は「岐阜市の河川は、徳川家康と貞泰に何通も書状を送り、大山城での動きを評価している。国守として城の守衛が残っているのは貞泰のおかげとも言える」と話す。お披露目会は九日午後七時から、同市下鶴町の黒野会館で開く。紙芝居のほか、河口会長が「関ヶ原の真相」について講演する。研究会は紙芝居をまとめた冊子を作り、市内の図書館などに近く配属する。(黒野会館＝0506000000)

関ヶ原合戦に出陣の黒野城主 加藤貞泰の活躍、紙芝居に



加藤貞泰の活躍を描いた紙芝居の一場面

顕彰団体作製、9日お披露目会

岐阜市の長良川の一つた古川に、附殿塚といいた黒野城と加藤貞泰の活躍を描いた紙芝居「黒野城主貞泰と関ヶ原」が完成した。貞泰顕彰市民団体「黒野城と加藤貞泰研究会」が作った。お披露目会が9日(金)にあり、参加者を募っている。(川瀬慎一朗)

研究会によりますと、貞泰は一五八〇(天正8)年生まれ。94年に黒野城を築いた。美濃国黒野4万石を治めた。その長男(鳥取藩)や大洲(愛媛)の藩主となり、1623(元和9)年に44歳で亡くなった。研究会の河口耕三会長は「加藤貞泰・関ヶ原の真相」と題して講演する。

お披露目会は午後7時から黒野会館(同市下鶴町)で開催。紙芝居に続き、同研究会の河口耕三会長が「加藤貞泰・関ヶ原の真相」と題して講演する。

当日の様子は8月14日(火)チャンネルCCN 番組エリアトピックスで紹介された。



2018年(平成30年)8月14日 火曜日

2018年(平成30年)8月14日 火曜日

関ヶ原合戦で活躍の黒野城主 加藤貞泰、紙芝居で紹介

顕彰団体

岐阜市黒野地区に城野を築いて美濃黒おと黒野小学校の深川主加藤貞泰の活躍を描く600(慶長5)年の。深川校長は「歴史ある町の紙芝居をいた加藤貞泰と関ヶ原の長政や竹中重門と英お披露目会が、同市下の一岡山烽火場」に布陣した。貞泰を顕彰する「黒野城と加藤貞泰研究会」が主催。第一部と、合戦を中心とした紙芝居の制作に携わった。約50人の市民が参加した。第二部は、同市の河川にまつわる新説をテーマにした。河口耕三会長が子どもへの地元に生まれ、94年に黒野城に没した。

紙芝居は関ヶ原合戦の前哨戦までを描いた。第一部は、合戦を中心とした紙芝居の制作に携わった。約50人の市民が参加した。第二部は、同市の河川にまつわる新説をテーマにした。河口耕三会長が子どもへの地元に生まれ、94年に黒野城に没した。



加藤貞泰の活躍を描いた紙芝居を披露する「黒野城と加藤貞泰研究会」のメンバー。岐阜市下鶴町、黒野会館

(川瀬慎一朗)

お披露目会では、同会紙芝居部会の4人が大鼓やぼら貝なども駆使し、臨場感あふれる発表を行った。河口会長は、貞泰の出生や活躍を説明する講演会もあった。

搦め手側の土塁跡 草刈り

今年は歴史的な猛暑が続いて1ヶ月以上も草刈りが出来なかったが、9月に入り有志7名にて約50センチ高さの雑草刈りと竹の整備を行った。



作業前



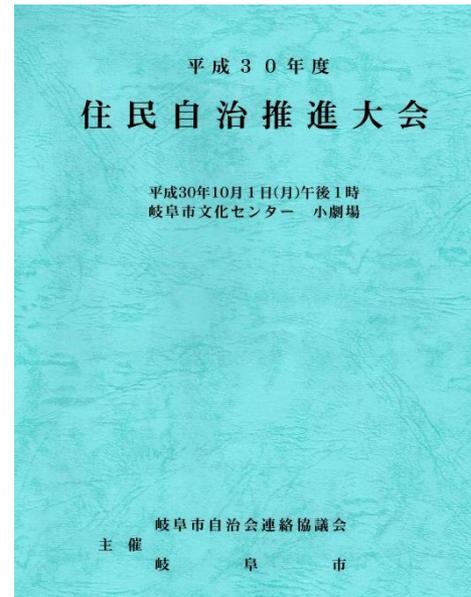
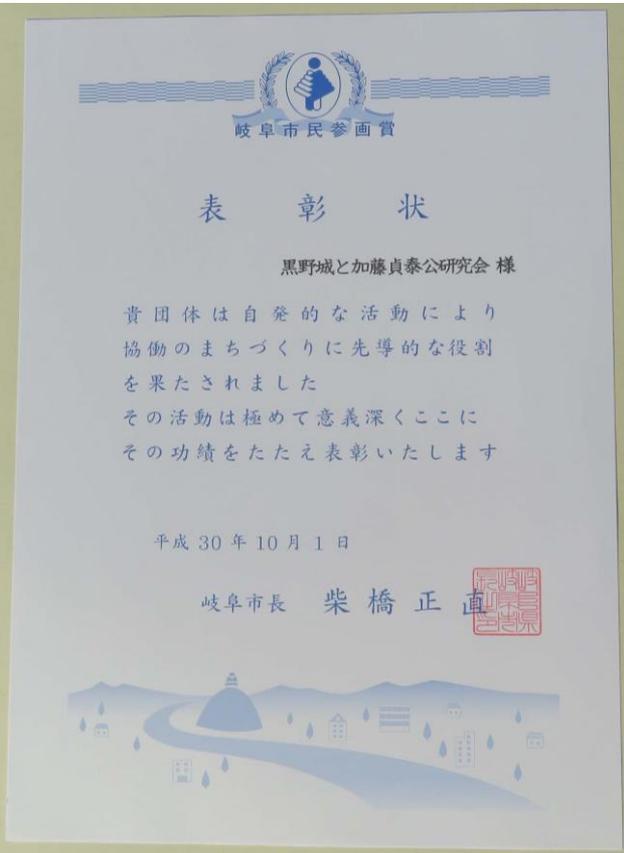
平成30年(2018)10月1日(月)
13:00~15:00

岐阜市文化センター
出席者 河口・名知

平成30年度 市民参画賞受賞(団体の部)

岐阜市自治会連絡協議会・岐阜市が主催の平成30年度 住民自治推進大会において、研究会は市民参画賞に推薦され受賞しました。まちづくりに主体的かつ先導的に取り組んでいる個人の部(60名)・団体の部(39団体)に柴橋市長から表彰状を渡され団体の部で受賞しました。

団体の部 39団体



- 芥見・岩地区コミュニティバス等運営協議会
- 芥見東アダプト・プログラム会
- 和泉土建 株式会社
- 株式会社 市川工務店
- NECフィールディング 株式会社 中部支社 岐阜支店
- 塩谷建設 株式会社
- 株式会社 大野組
- 株式会社 大村建設
- 小塩通信 株式会社
- 株式会社 笠井土建
- 有限会社 カワダ建設
- 株式会社 川田電機工務店
- 岐阜北建設 株式会社
- 協栄建設 株式会社
- 久世工業 株式会社
- 株式会社 國井組
- 黒野城と加藤貞泰公研究会
- 酒井電気工事 株式会社
- 株式会社 篠田製作所
- 株式会社 SEIWA
- 大日本土木 株式会社
- 玉田建設 株式会社
- 諏訪自治会
- 道家工業 株式会社
- 株式会社 東光電工社
- 同和建設 株式会社
- 永井建設 株式会社
- 濃尾電機 株式会社
- 馬場建設 株式会社
- 株式会社 二葉工業所
- 本荘の歴史を語る会
- 丸成林建設 株式会社
- 株式会社 丸利組
- 株式会社 丸英杉山組
- 株式会社 丸平工業
- 有限会社 三輪北農産
- 名三工業 株式会社 岐阜営業所
- 山尾興業 株式会社
- 山本建設 株式会社

紙芝居上演 黒野白寿会連合会の福祉大会

「黒野城主加藤貞泰と関ヶ原」

黒野城と加藤貞泰研究会

平成30年(2018)10月23日(火)

11:10~11:50

西部コミュニティセンター

講演・上演者以外のスタッフ: 関谷・高井

黒野白寿会連合会の福祉大会(239名)。広い大会場での紙芝居は初で、「関ヶ原」は8月に黒野会館で新作発表後2回目の上演。前座者の講演に続いて、河口会長から城主の関ヶ原合戦を解説。引き続いて河合・名知・神山・河島の4名が太鼓、ホラ貝など音付で練習の成果を披露。購入したプロジェクターが役立ちました。地元黒野城主の貞泰でもあり、参加者の皆さんは熱心に観賞され、上演後の感想も好評でありました。



ひろめよう黒野の歴史・関ヶ原合戦と貞泰公

平成30年度 会館まつり ☆出展・舞台演技★

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成30年(2018)10月27日,28日

9:00~16:00

黒野会館

今年は「ひろげよう黒野の歴史(関ヶ原)」のテーマで主に紙芝居「関ヶ原」の全原画などをパネル展示。舞台演技は「黒野城下町賛歌」を合唱。



鑑教室で作った小島さんの鎧(右)、中村さんの鎧(左)



名知さんがクレヨンで描いた紙芝居の原画



5年間の唄いに終止符の「黒野城下町賛歌」
来年は新曲を披露



第20回黒野校区文化祭

広げよう黒野の歴史文化 「関ヶ原合戦」&「尉殿堤」パネル展示

2年毎に開催される文化祭。今年は手作り教室のヨロイや加藤貞泰の「関ヶ原合戦」と「尉殿堤」をテーマに紙芝居の絵やパネル類を展示。地域の皆さんに関心を持ってもらいました。柴橋岐阜市長も来場、岐阜の歴史・関ヶ原合戦にも詳しい市長さんでした。



関ヶ原町役場に表敬訪問 & 垂井町岩手の竹中氏関係者と交流会

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成30年(2018)11月9日(金)

9:00~17:00

十九女池・歴史民俗資料館・関ヶ原町役場・笹尾山交流館

垂井町岩手地区まちづくりセンター・竹中陣屋跡

昨年に続き関ヶ原古戦場へ。関ヶ原町役場へは3年ぶりに6名で訪れ、最近の活動資料で情報交換。また垂井町では竹中陣屋跡に隣接のまちづくりセンターにて「岩手の歴史と文化を守る会」・「垂井町観光協会」・「竹中半兵衛重治公顕彰会」の代表者4名の皆さまと初の交流会を行いました。竹中半兵衛と光泰の関係と竹中重門室が貞泰の姉である縁や、大洲藩加藤家と竹中家との姻戚関係など双方の資料にて交流会を行いました。



十九女(つづら)池公園

・関ヶ原町ふれあいセンター
図書館に紙芝居冊子を贈呈



雨上がりの古戦場・決戦場から笹尾山を望む



のろし場山麓の貞泰電柱看板にて



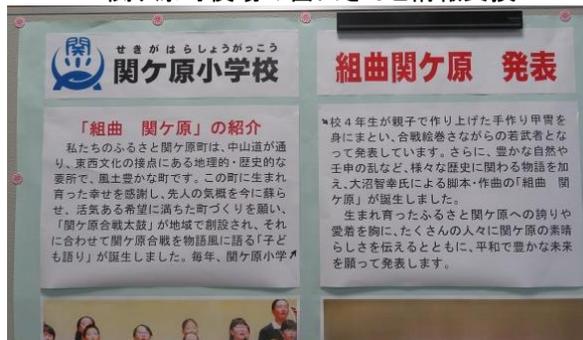
関ヶ原町役場の富田さんと情報交換



「笹尾山交流館」の鎧兜試着室にて



岩手まちづくりセンター



今年発表された「組曲 関ヶ原」の脚本・作曲者に黒野の大沼智幸氏の名にビックリ！（関ヶ原町役場ロビー）



竹中氏陣屋跡



垂井町岩手の竹中氏関係者の皆さんと交流会

平成30年(2018)11月10日(日)
18:30~20:00
古町公民館

古町「昭生会」紙芝居「関ヶ原」上演

黒野城下古町の昭和生まれの皆さん30名が集う昭生会にて昨年の講話に続き、夕食弁当を頂いてから概要と紙芝居上演。



「良かったよ」と
感想の声が上
がる



古市場「未来の会」紙芝居「関ヶ原」上演

古市場の未来の会が集うの定例会合(参加者16名)に初めて呼ばれ概要と紙芝居上演。黒野城や郷土歴史に関心も高く質問数件あり。上演後は弁当を頂き懇親会。

平成30年(2018)11月17日(土)
18:30~20:30
古市場公民館



長良川おんぱく2018 「黒野城と城下町 & 富有柿ざんまい」

長良川おんぱくは今年で6年連続開催。今年も秋の味覚柿の企画にて、早くから定員15名が満席になりキャンセル待ち1名含め16名参加。暖かく快晴のもとスタッフ10名にて熱意あるおもてなし。



黒野小フィールドワーク 社会科授業

地域の黒野城下町歩き

今年も黒野小学校ふるさと学習のフィールドワークとして、6年生児童68名を対象に研究会が黒野城下町を案内しました。黒野小学校を出発し各史跡10カ所を巡り、黒野城跡では城主・加藤貞泰公と城址の説明に、子供たちは真剣にノートを取って郷土の歴史を学んでいました。ご協力を頂いた校長先生と担任の先生方に御礼申し上げます。



平成30年(2018)12月5日(水)
9:30~17:00

岡山烽火場になびく蛇目紋旗見学

岡山烽火場跡・歴史民俗資料館・笹尾山交流館
レザークラフト・関ヶ原町役場

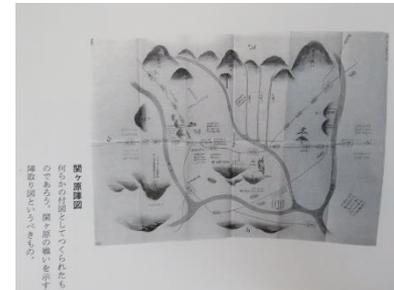
第2回 垂井町「岩手の歴史と文化を守る会」などと交流会

菁莪記念館・垂井町岩手地区まちづくりセンター

岩手 6名
黒野 8名

11月9日の訪問に続き、関ヶ原古戦場の岡山烽火場に建った「蛇の目紋」旗を見学し、関ヶ原町役場の地域振興課へ御礼訪問など。

垂井町では、菁莪記念館を見学後、まちづくりセンターにて第2回目の交流会。双方の史料にて竹中家との関係を系譜などで紹介。光泰と半兵衛、貞泰と重門及び大洲藩家老加藤家と岩手竹中家と縁が深い歴史に有意義な交流会でありました。また絵図などの新発見もありました。

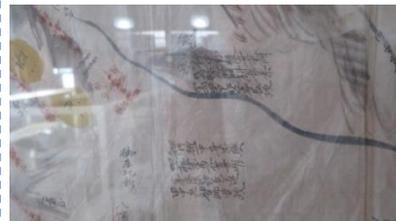


丸山烽火場に加藤左衛門尉貞泰の名布陣図(真田三代書籍より)



昼食弁当

新たに設置された案内板(岐阜県)



丸山烽火場に加藤左衛門尉貞泰の名がある布陣図(菁莪記念館蔵)



オリジナルの賛歌「あゝ黒野城下町」作詞活動

いままで研究会の開催前に昭和35年代頃に作られた糸貫町賛歌(歌:藤山一郎)のカラオケ曲を替歌「黒野城下町賛歌」として歌ってきました。

オリジナル曲が必要との機運が高まり、新たに新曲を作ろうと、今年の活動目標になり、8名の有志により延べ6回の作詞制作委員会を経て、詞の原案1番～3番が出来上がりました。

黒野の春、夏、秋の四季と自然風土、歴史文化を紹介し、将来に向かって歩む学園含め、ふるさとを愛する想いと将来への希望を託した詩になりました。

5月19日の研究会にて原案が浅野作詞委員長から披露があり、今後は作曲を地元の大沼智幸先生にお願いする活動予定となりました。

尚、原案の詞はその後、一部修正案の経緯の後、秋に大沼先生による曲が完成。今後は男性、女性それぞれ1名の歌手を探し、年末頃にレコーディングの予定へと進みました。



黒野会館図書室にて作詞委員会のみなさん



賛歌「あゝ黒野城下町」・歌を録音

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成30年(2018)12月8日(土)
西部コミュニティセンター
9:00~12:00 全13名

研究会の賛歌制作委員会にて作詞、地元黒野の大沼智幸氏に作曲をお願いした新曲「あゝ黒野城下町」を男女歌手による録音が無事終わりました。男性歌手は黒野小校長の深尾雅人氏、女性歌手は声楽家矢嶋倫子(のりこ)氏の美声を、音響技師のエムエフプランニング吉田雅之さんの御協力にて収録。1月の発表会に向けて素晴らしい賛歌が誕生しました。



● あゝ黒野城下町

一 古城の里に 春を呼び
若き城主の 面影を
蛇の目の紋に 誇りもち
心をつ結び 時を越え
住み良い暮らし めざす町
あゝ故郷の城下町

二 鶴飼の里に 御望の山
古き話の 小川市
黒野の歴史 誇りもち
ホタル飛び交う 板屋川
豊かな自然 守る町
あゝ故郷の城下町

三 黄金の里に 伊自良川
芭蕉・寸木 句碑たずね
築きし文化 誇りもち
学びの園に 夢託す
明日に向かって 歩む町
あゝ故郷の城下町



深尾校長先生は、学生のとぎギター片手に岐阜大学の「さだまさし」と言われていたそうです。

テニテオ イルミナード2018

ぎふメディアコスモス 紙芝居「関ヶ原」上演

黒野城と加藤貞泰公研究会

平成30年(2018)12月23日(日)

9:00~14:00

メディアコスモス

みんなの森ぎふメディアコスで開催された、クリスマスDEフム・ドキ・ワイワイに紙芝居「関ヶ原」でエントリー。11時30分~12時30分に武将隊含め17名が参加。約50名の聴衆の前で加藤貞泰公の関ヶ原合戦前後の様子を解説含め紙芝居で出演。

武将隊が会場の盛り上げにも一役、無事終わりました。東海古城研究会の福島氏が陣中見舞い兼ねてビデオ撮影された。この模様が25日にCCNチャンネルのエリアトピックスで放送されました。



関ヶ原古戦場訪問

歴史民俗資料館・関ヶ原町役場・レザークラフト
HAYATE WORKS・笹尾山交流館

第3回 垂井町岩手と交流会

垂井町岩手地区まちづくりセンター・禅懂寺

岩手 3名
黒野 6名

岩手のまちづくりセンターにて幟1枚を寄贈に訪問。お返しに竹中半兵衛の幟を頂戴し記念写真。関ヶ原合戦の屏風絵情報など交流。安藤守就の室という加藤光泰娘の墓があると聞き竹中家菩提寺の禅懂寺へ。帰りに岩崎神社へ。



吉田旗店にて製作して頂いた新しい幟を寄贈に訪問。歴史民俗資料館では飯沼館長様のご厚意で館内の竹中家旗の側に並べていただくことになりました。役場では地域振興課富田さんが岡山烽火場の旗を取り替えていただくことになりました。笹尾山のHAYATE WORKSでは、試作中の布製陣羽織1着に名称部分をプリント実演してきました。隣の笹尾山交流館ではコンビニ弁当で一休み。



レザークラフトにて



安藤守就・竹中家・加藤光泰
ゆかりの墓石を案内して頂く



ふるさと黒野の歌誕生・「みんなで歌おう・みんなで聞こう」 賛歌「あゝ黒野城下町」発表会



小雪が舞う中、賛歌「あゝ黒野城下町」の発表会が黒野会館にて岐阜市や地域の代表者、市民ら約150名が参加し盛大に開催された。司会進行澤島監事、開会のことば関谷副会長、主催者挨拶樋口会長、来賓挨拶に柴橋岐阜市長メッセージ(社会教育課横田宏さん)、信田市議会議長メッセージ、連合会長西垣薫さん、歌詞について浅野制作委員長。作曲者の大沼智幸先生、歌手の深尾雅人黒野小学校校長先生と声楽家の矢嶋倫子さん、録音吉田雅之さんの紹介。白寿会あすなろコーラス部21名のバックコーラスで2名の歌手により賛歌披露と全員合唱。4名に感謝状贈呈、大沼先生と新日本ガス(株)会長高井宏康さんの挨拶。最後に全員合唱し、閉会のことば名知勲。発表会は、事前に岐阜新聞・中日新聞にも掲載され、当日の様子は新聞やCCNケーブルTVで放送された。今後、多くの市民に普及し、末永く歌い続けられることを願います。



- 《配布資料》
- ・式次第
 - ・賛歌制作にあたって
 - ・歌詞
 - ・新聞記事
 - ・CD

矢嶋倫子さん

深尾雅人さん

感謝状贈呈

大沼智幸さん

《当日及びCDを聞いた感想より》

- ・歌最後の「あゝ故郷の城下町」に感動し涙が出ました、素晴らしい曲です。
- ・昭和の香りがするメロディーでなんとなく懐かしさを覚える。
- ・ふるさとの哀愁と軽いメロディーでくちずさみ易く、なかなかの作品。



「ふるさと黒野検定」平成30年度表彰式

平成30年度の「ふるさと黒野検定こども版」の表彰式が黒野小学校で行われました。部会で作成した黒野の歴史に関する問題60問を6回に分け、4~6年生を対象に問題に取り組んでもらいました。全問正解の6名を最優秀賞、以下成績上位者7名を優秀賞、4名を優良賞として表彰とカップとメダルの授与、また回答率と正解率が高かった5年2組をクラス表彰しました。

一生懸命問題に取り組んでくれた児童達と、検定の実施にご協力頂いた先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。

表彰者	最優秀賞 金賞 トロフィ	優秀賞 銀賞 トロフィ	優良賞 銅賞 メダル
4年生		2名	1名
5年生	3名	2名	2名
6年生	3名	3名	1名
クラス表彰	5年2組		



平成30年度
ふるさと黒野検定こども版
金賞
2019.03.06
黒野城と加藤貞泰公研究会

平成30年度
ふるさと黒野検定こども版
銀賞
2019.03.06
黒野城と加藤貞泰公研究会

平成30年度
ふるさと黒野検定こども版
銅賞
2019.03.06
黒野城と加藤貞泰公研究会



JAぎふ黒野支店「年金友の会 感謝の集い」 ふるさとの賛歌「あゝ黒野城下町」を紹介

黒野支店から年金を受取の方々への感謝の集いに、賛歌を紹介いたしますと依頼があり、2名が講師役。黒野地域約160数名が参加。後藤支部長、広瀬JA黒野支店長のあいさつ紹介後、3つのプログラムが開催。最初の「あゝ黒野城下町」紹介は河口会長から賛歌誕生～発表会までの経緯、浅野監事から歌詞について説明。黒野支店のカラオケ音響機器でCDの歌を聴いて頂き、2回目は、配られた歌詞を見ながら全員にて合唱を行いました。歌いやすい曲でにこやかに歌っていただきました。続いて、ひとり時代劇・お笑いトーク（さすらいのエンターテナー 新之介）、お楽しみ抽選会が開催され、研究会からはCDを5枚寄附し二人で抽選しました。

